

# 八王子市立館小中学校中学部「平成24年度授業改善推進プラン」

## 【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 〈健康な心身・活力〉  
 「かがやく心」 〈豊かな知性と感性・個性〉  
 「仲間とともに」 〈協調性・社会性〉  
 「はばたけ未来へ」 〈意欲・積極性〉  
 の育成に向けた教育を推進する。

## 【教育目標】

- 主体的に生きる
- 心豊かに生きる
- 逞しく生きる

### 1 地域の実態

- ・地域が学校に協力的である。
- ・青少対やPTA活動が盛んである。
- 2 地域住民・保護者の期待や願い
  - ・生徒が生き生きと活動し、笑顔があふれる学校
  - ・課題に迅速に対応し、教育活動の改善・充実(補習の充実等を含める)に意欲的な学校
  - ・保護者や地域から信頼され、生徒を安心して任せられる学校
- 3 期待される生徒像
  - ・主体的に学ぼうとする意欲あふれる生徒
  - ・進んで人のために行動しようとする心優しい生徒
  - ・夢の実現にむけてあきらめず努力を惜しまない生徒

## 《本校の現状》

- 1 「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」「全国学力・学習状況調査」より
  - (1) 東京都問題解決能力では、「意思決定する力」と「課題を発見する力」に課題が見られる。「見通す力」「表現する力」は向上し、東京都、八王子市の平均値を上回った。基礎基本の調査では、国語の「読む能力」、数学の「表現・処理」に課題が見られる。
  - (2) 東京都中1、中2の意識調査では「授業が楽しい」と回答した生徒は、全ての教科で東京都及び八王子市の平均を上回っている。一方、「授業が分かる」と回答した生徒は、1年の国語科・社会科・理科、2年の理科・総合を除いて東京都及び八王子市の平均を下回っている。[楽しいが分からない]という現状を分析し改善する必要がある。どの教科も「自分で調べたり、考えたり、体験する授業」「先生が丁寧に教えてくれる授業」が分かる授業の要因としている。
  - (3) 中2では「朝食を食べて登校する」「学校の持ち物の準備」「最後までやり抜く根気強さ」、中1、中2ともに「身の回りのことを自分でする」「家の手伝いや地域の役に立つことをする」「将来、社会や人の役に立つ仕事をしたい」と回答した割合は東京都及び八王子市の平均を上回っている。一方、「毎日の読書の時間」では、中1・中2ともに「しない」割合が、東京都及び八王子市の平均を上回る結果となった。「読む能力」が課題となる背景と考えられる。
  - (4) 全国調査の平均正答率では、国語が全国及び東京都を上回ったが、数学は下回った。数学では、「数学的な表現・処理」「記述式問題」が課題である。
  - (5) 全校調査の意識調査では、東京都と同じ傾向が示された。基本的な生活習慣が身に付いていることから、いかに主体的学習に向かわせるかが課題である。
- 2 生徒による授業評価・自己評価より
  - (1) 各教科の「授業がよく分かる」という割合は、全ての学年で80%を超え、社会、理科、音楽、保健体育、技術家庭では、100%という学年もあった。
  - (2) 一方自己評価では、予習・復習といった家庭学習について、予習も復習もしない生徒が50%を超える。家庭での学習習慣の定着が急務である。
  - (3) 教員の課題分析表からは、授業規律及び態度もよく与えられたことには熱心に取り組むが、学力として定着しにくい面がある。家庭学習の充実への働きかけの必要性が指摘されている。

## 《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- (1) 本年度は、中心的な課題を「授業改善」とし、第1歩である授業規律の徹底を継続するとともに、「基礎・基本の確実な定着」と「生徒の学習意欲の向上」を図る指導方法の工夫・改善を図ることを重点として取り組む。
- (2) 「週ごとの指導計画」に基づく授業観察、全教師による問題解決を主眼とした授業研究や「小中一貫教育における系統図」の作成を端緒とし、授業改善の視点に対する校内の共通理解を図る。
- (3) 新学習指導要領の趣旨及び指導内容についての理解を深め、年間指導計画・評価計画を見直し改善を図る。

## 《本年度の学力向上の具体策》(いつまでに、どの程度)

- (1) 本年度実施の学習指導要領を各教員に周知徹底する。
- (2) 1学期末に、学力調査や「生徒による授業評価」等の調査結果を分析し、それを生かす形で、夏季休業中に各教師が「授業改善推進プラン」の見直しと作成を行う。  
 毎学期末の「生徒による授業評価」を活用し、授業改善の指針の一つとし、次学期までには実態に即した計画を立案する。
- (3) 教師全員が、授業改善の視点を明確(今年度は問題解決的な学習)にした指導案を作成し、年間3回以上、授業研究を行う。  
 研究協議会の充実を図るため、講師には教科の専門性を有する外部講師を招聘する。
- (4) 毎週、小学部に中学部の教員が参加し、合同で授業行い、各教科への興味関心を高める。
- (5) 観点別評価の評価規準を明確にした授業を実施し、指導と評価のあり方について校内での共通理解を深める。
- (6) 各学期に授業公開週間を設け、保護者の参観を通して家庭学習の充実への理解を深める。

## 《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

- (1) 小規模少人数のよさを生かし、日常の学習状況を的確に把握し、一人一人への迅速な指導助言に徹する。
- (2) 各教科、授業研究を複数回実施し、さらに講師からの指導を通して授業改善を検証する。
- (3) 観点別評価項目に基づいて定期考査を作成、その結果を検証し、成果と課題を明確にし、指導に生かす。
- (4) 各学期末に、生徒による授業評価と教師による自己評価を実施し、継続的な授業改善を図る。
- (5) 生徒及び保護者が、学習の成果と課題を確実に理解できるよう、学習等の相談を随時受け付ける。
- (6) 各教科、小学部と9年間を見通した系統図を作成し、生徒の学力向上に資する。
- (7) 各教科、長期休業中にかかわらず、適宜、補習授業を行う。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(中学部第1学年)

| 教科等 | 現状と課題  | 改善策  | 教科等       | 現状と課題  | 改善策  |
|-----|--|--|-----------|--|--|
| 国語  | テストを意識して家庭学習をする生徒が増えた。ノートを作ろうという意識が定着してきた。   | 小テストや課題を通して、家庭学習の一層の定着を目指す(家庭学習の基本を確認したい)。   | 美術        | 可塑性のある材料に楽しみながら振れて作業をしている。人形の顔の作成では、ワッペン的な目・口の表現から、周囲の筋肉の付き方に理解を広げている。 | 関心は高いのだが、その取り組み方にのんびりしている生徒や散漫な生徒が見られ、作業がなかなか進まない。作品作りが雑にならないように、十分な注意指導を継続して行う。             |
| 社会  | 授業に対する参加意欲が高まり、一部生徒を中心に興味関心を抱いてくれるようになった。しかし、全体に興味関心を喚起することができなかった。                      | プリントやワークシートに自らの考えをまとめる項目を設定し、自らの考えを発表する時間を設ける。<br>また、単純に話材を精選し、科目に対する興味関心を高めたい。新指導要領に即した新しい学習内容にも留意する。教科書の問題解決項目を活用する。 | 技術・家庭     | 友達の作品と比較して、より工夫と、仕上げに時間をかけている。   | 時数が少ないためにもう一步の踏み込みが出来ていない。少ない時間での効率の良い作業を考える。  |
| 数学  | 基礎、基本的な内容の定着が図られ、応用的な課題解決に対しても意欲的に取り組む生徒が増えてきている。<br>一部、家庭学習の習慣が身に付いていない生徒がいる。           | 基礎、基本的な内容の定着をいっそう進めるとともに、応用的な課題解決が意欲的に取り組めるようになっていきたい。<br>興味、関心を高める指導を工夫・改善する。<br>小学部への乗り入れで小数・分数の練習を実施する。             | 保健体育      | 自分たちで意欲的に、課題を意識し、取り組むようになり、達成感を感じられた。                                  | 学年が上がると、課題も難易度も高まることを意識させ、より基礎・基本を徹底させる。   |
| 理科  | 生徒が主体となって活動できる実験の充実。家庭学習に活用できるような、授業内容を効果的にまとめたノートづくりの指導。                                | 班の討議では、まだまだ消極的な生徒が多いので、もっと話し合い、知識や考えを共有できるようにする工夫が必要。新指導要領に即した補充、発展学習にも留意する。   | 外国語       | ノートの点検を交えながら、ノートづくりの指導を進めた。自分で単語を読む力が少しずつついてきた。<br>家庭学習が不十分。           | 自分で単語を読む力、文の内容を読み取る力を養って行きたい。<br>学期ごとにスペリングコンテストを実施し、単語力の向上を目指す。                             |
| 音楽  | 実行委員を始めとするリーダーが中心となり、学級での活動の計画を立て目標を持って活動していた。また、共通課題曲にすることで、身近な先輩たちの合唱を目標として取り組むことができた。 | 合唱練習では各パートに分かれて練習する機会も多く、リーダーの育成は今後も重要な課題である。また、発達段階に応じた歌い方を工夫できる楽曲選びをしながらも行事の内容を充実させていきたい。                            | 総合的な学習の時間 | まだ、他人任せの面もあり、何事にも自分たちで能動的に取り組めるよう指導する。                                 | 生徒が主体的に各行事に参加し、生徒個人、生徒相互が連帯できる環境を構築するよう留意する。合唱祭を契機に移動教室につなげたい。<br>また、児童との共同した主体的に各行事に参加させたい。 |

その他(道徳・特別活動等)

道徳の年間指導計画に基づき、道徳の授業を実施し、授業だけではなく、様々な面から生徒の自主自立の精神を涵養する。また、いじめ問題を契機に他者に対する思いやりの心を滋養する。また、部活動などを通して、基本的な生活習慣を確立する。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(中学部第2学年)

| 教科等  | 現状と課題  | 改善策   | 教科等       | 現状と課題  | 改善策   |
|--|--|---|-----------|--|---|
| 国語   | 積極的に表現に取り組む生徒が、以前よりもふえた。基礎的な漢字力が一層の努力が必要に感じられる。                                      | まだ受け身の生徒もいるので、継続して発表や表現の機会を設定する。小テストや課題を通して、家庭学習の一層の定着を目指す(家庭学習の基本を確認したい)。  | 美術        | 細かい作業を終え、完成作品に対して感動する様子が見られた。しかし、興味関心に程度の差がある。   | 関心は高い生徒も、その取り組み方に散漫な場合があり、作業がなかなか進まない。作品作りが雑にならないように、十分な注意指導を継続して行う。                            |
| 社会   | 授業に対する参加意欲が高まり、興味関心を抱いてくれるようになった。しかし、一部の学力向上にはつなげていない。                               | プリントやワークシートに自らの考えをまとめる項目を設定したり、自らの考えを発表する時間を設ける。教科書の問題解決項目を活用する。また、新指導要領に即した補充、発展学習にも留意する。                            | 技術・家庭     | 友達の作品と比較して、より工夫と、仕上げに時間をかけている。                   | 決定的に時数が少ないためにもう一步の踏み込みが出来ていない。少ない時間での効率の良い作業を考える。   |
| 数学   | 基礎、基本的な内容の定着に差があるのが現状である。しかし、応用的な課題解決に対しは意欲的に取り組む生徒が増えてきている。家庭学習が不十分である生徒が多い。        | 基礎、基本的な内容の定着が不十分である生徒に対しては、放課後の個別指導や補充教室を進めるなどしていきたい。興味、関心を高める指導を工夫・改善する。   | 保健体育      | 課題に対して諦めずに取り組み、実際に達成することで、反復練習の大切さを理解した。         | 現状に満足せずに、次の課題を意識し、各単元の活動につながるようにする。   |
| 理科   | 資料を活用し、班員と話し合いながら、自分の考えを説明したり、まとめようとして姿勢が見られてきた。                                     | 実験準備から後片づけまでの流れが定着するよう、ワークシートの簡略化と板書の全体指導を併用する。家庭学習に取り組ませるための課題の出し方とその工夫。新指導要領に即した補充、発展学習にも留意する。                      | 外国語       | 自分で文の意味を理解する力が少しずつついてきた。しっかりと発音する生徒が多い。家庭学習が不十分。 | 自分で単語を読む力だけでなく、文や文章の内容を読み取る力を養って行きたい。学期ごとにスペリングコンテストを実施し、単語力の向上を目指す。                            |
| 音楽   | 音楽を形づくっている諸要素を知覚することと、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる学習活動に取り組む、音楽表現の工夫に着目して音楽作りに取り組めるようになってきた。 | 音楽表現を工夫するためには、楽曲の分析力が必要になる。授業の中だけでなく普段の生活の中で体験したり、感じたりしたことを音楽を形作っている諸要素と結びつけ、表現しようとする思いや意図をもって音楽表現の工夫につながるよう支援していきたい。 | 総合的な学習の時間 | まだ、他人任せの面もあり、何事にも自分たちで能動的に取り組めるよう指導する。           | 生徒が主体的に各行事に参加し、生徒個人、生徒相互が連帯できる環境を構築するよう留意する。校外学習や合唱祭を契機に生徒の主体性を確立したい。また、児童との共同した主体的に各行事に参加させたい。 |
| <p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>道徳の年間指導計画に基づき、道徳の授業を実施し、授業だけではなく、様々な面から生徒の自主自立の精神を涵養する。また、いじめ問題を契機に他者に対する思いやりの心を滋養する。また、部活動などを通して、基本的な生活習慣を確立する。</p> |  |   |           |  |   |

教科等の現状と課題及び授業の改善点

(中学部第3学年)

| 教科等  | 現状と課題   | 改善策   | 教科等       | 現状と課題   | 改善策   |
|--|---|---|-----------|---|---|
| 国語   | 文法の確認学習を、折に触れて行った。学習に対する意識に差がある。  | 類似問題への対応力は大変高い。しかし、範囲指定の無い問題になると、知識はあるのにそれが引き出せなくなってしまうので、受験問題を意識した問題演習を行う。古典に関しては3学年の学習だけではなく、1、2学年の復習を意識的に行う。                                   | 美術        | 可塑性のある材料に楽しみながら振れて作業をしていたが、テーマである表情を彫塑的に表現することに苦慮する生徒も見られた。 | 美術に関して興味関心が低い生徒も混在しているため、その進度幅が広がってしまった。今後の補充学習を計画し、その対応を図る。                                |
| 社会   | 男子を中心に積極的に発言し、興味関心を示してくれるようになった。残念ながら、範囲指定の学習だけに終り、応用力が身に付いていない。  | 資料の活用のし方には、まだ個人差が大きいので、その差を縮める工夫が必要。プリントやワークシートに自らの考えをまとめる項目を設定し、自らの考えを発表する時間を設ける。入試に向けて問題を解こうとする生徒に対して、放課後および長期休業中の補充学習を考える。意識的に1、2学年の復習を意識的に行う。 | 技術・家庭     | 特殊な分野のために生徒の能力差が大きく、理解が深まる生徒が増える反面、進みが遅く飽きてしまう生徒もいる。        | 決定的に時数が少ないため、3学年は能力の低い生徒への踏み込みが出来ていない現状がある。グループ学習の効果を考えたい。                                  |
| 数学   | 基礎、基本的な内容の定着に差があるのが現状である。しかし、入試問題などの応用的な問題に対しは意欲的に取り組む生徒が増えてきている。また、課題解決に対し自分が理解し納得できるまで質問し追求するなど、課題解決に対する姿勢は徐々に変化してきている。 | 基礎、基本的な内容の定着が不十分である生徒や入試に向けて問題を解こうとする生徒に対しては、放課後の個別指導や補充教室を考えていきたい。また、授業では習熟度別授業を視野に入れ進めていきたい。興味、関心を高める指導を工夫・改善する。                                | 保健体育      | 授業毎に、自己評価を行うようになり、次の授業への目的意識を高めていた。                         | グループ別学習を実施するときに、仲間同士でより観察し合い、アドバイスができるようにする。  |
| 理科   | 受験を意識し、ほとんどの生徒が意欲的に取り組み、資料を活用し、班員と話し合いながら、自分の考えを説明したり、まとめようとしていたりする姿勢が見られた。   | 類似問題への対応力は大変高いが、範囲指定の無い問題になると、知識はあるのにそれが引き出せなくなってしまうので、受験問題を意識した問題演習を行う。1、2学年の復習を意識的に行う。  | 外国語       | 英文を英文で理解するステップとして英問英答のコツが少しずつかむことができるようになってきた。家庭学習が不十分。     | 文や文章の内容を読み取る力だけでなく、分からない単語の意味を推測する力を養って行きたい。学期ごとにスペリングコンテストを実施し、単語力の向上を目指す。1、2学年の復習を意識的に行う。 |
| 音楽   | 音楽を形づくっている諸要素を知覚することと、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる学習活動に取り組む、音楽表現の工夫に着目し、自主的に音楽作りに取り組めるようになった。                                    | 音楽表現を工夫するためには、楽曲の分析力が必要になる。授業の中だけでなく普段の生活の中で体験したり、感じたりしたことを音楽を形作っている諸要素と結びつけ、表現の工夫へとつなげられるよう、普段から生徒とのコミュニケーションを図っていきたい。                           | 総合的な学習の時間 | 体育祭や修学旅行を通じ、何事にも自分たちで能動的かつ積極的に取り組むという姿勢が見られるようになった。         | 生徒が主体的に進路を選択できるよう留意する。また、児童との共同した主体的に各行事に参加させたい。  |
| <p>その他(道徳・特別活動等)</p> <p>道徳の年間指導計画に基づき、道徳の授業を実施し、授業だけではなく、様々な面から最上級生としての自主自立の精神を涵養する。また、いじめ問題を契機に他者に対する思いやりの心を滋養する。</p> |   |   |           |   |   |